

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

## 研究協力のお願ひ

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

アスペルギルス感染症を合併した間質性肺炎患者の背景因子の検討

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2012年1月～2018年4月までの間に、昭和大学病院単施設で行われた喀痰検査及び気管支鏡検査で得られた呼吸器検体からアスペルギルス属 (*Aspergillus species*) が培養同定された患者のうち、基礎疾患に間質性肺炎をもつ患者さん。

### 2. 研究目的・方法

真菌（カビ）は慢性呼吸器疾患に対して様々な影響を与えます。中でもアスペルギルス属は呼吸器検体（喀痰、気管支洗浄液など）からの分離頻度の多い菌種であり、その感染は時に致死的な経過を及ぼします。慢性呼吸器疾患の一つである間質性肺炎患者では、肺胞構造の変化や、ステロイドや免疫抑制剤の使用に伴う易感染性によって、アスペルギルス属に感染しやすいのではないかと考えられています。しかしアスペルギルス感染症を合併した間質性肺炎患者の特徴は明らかになっていない。本研究では、アスペルギルス感染症を合併した間質性肺炎患者の患者背景因子を、診療記録をもとに後方視的に検討します。

本研究は学術研究であり、患者さんのデータを利用します。患者データは病院内の診療録管理室にて「3 研究に用いる試料・情報の種類」に記載した情報を取得します。取得した情報は、本研究者間のみ情報を共有します。

### 研究期間

医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後。病院長の研究実施許可を得てから2022年3月31日まで

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：身長、体重、血液検査結果、喀痰あるいは気管支洗浄液の培養結果、入院時の胸部単純X線あるいはCT検査の画像結果、呼吸機能検査結果、使用薬剤（抗真菌薬、全身性ステロイド、吸入薬、抗ア

アレルギー薬、生物学的製剤)、既往歴、喫煙歴

#### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院（医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科学部門）

氏名：福田 陽佑（研究責任者）

住所：142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8532